

◆特集 2 業務事例集◆

## 文献検索の指導について

野 口 通 世

### I. はじめに

図書室業務の中心が文献検索・文献複写になってきた。当院では平成 18 年度の文献複写依頼が約 1,800 件（うち院外からの依頼が 800 件）、文献検索のみの依頼が約 70 件あり、一日平均、約 6 件の文献検索・複写をしている。インターネット接続の環境が充実し、多数の医師は各自のパソコンで検索し、院内所蔵の文献は自分で複写し、所蔵がない資料について複写依頼をしてくる。最近は看護関連の学会も多く、看護師も専門・認定資格の取得等、レベル向上のために進んで参加する傾向にある。また看護研究も活発になり参考文献の検索や病棟内の問題解決のエビデンスとして図書室を利用する看護師が多く文献依頼も増えてきた。しかし図書室には看護関連の資料が少ない上に、資料の探し方が分からない看護師も少なくない。

### II. 看護師への指導

#### 1. 文献調査方法

事例 1：「透析患者の栄養管理について」

- 1) 図書管理パソコンで院内所蔵の確認をする。
- 2) 所蔵がない場合は、文献検索を行う。看護師の検索には科学技術振興機構のデータベース JDream II を使用する。JDream II

は、日本看護協会も推奨しているデータベースで看護関連の文献が多く、また全体の約 60% の文献に抄録が記載されているため、看護師には大変価値の高いデータベースである。JDream II の検索方法を説明しながら、本人に検索してもらおう。

- 3) 検索した文献が図書室にあればコピーする。
- 4) 該当文献がない場合、インターネットの検索エンジン Yahoo! や Google で調べる。当院図書室のように看護関連の文献資料の少ない施設はインターネットでの情報収集は必須である。

#### 2. 看護師対象の文献検索講習会

看護師を対象に文献検索の講習会を開始したのは、JDream を導入した平成 17 年 4 月である。以後、毎年 4 月に新任研修の一環として約 40 分間、「図書室の利用について」のオリエンテーションを行い、その中で文献検索について説明している。この時には JDream の画面を開き、看護現場で疑問に思ったことや、困ったことがあった場合、キーワードを入れて調べることが出来ることを説明し、図書室担当者が例を挙げて検索して見せ、JDream が便利なデータベースであるという説明を行っている。

実際の講習会は 5 月末～6 月初旬に行っている。新年度になり看護部の看護研究が開始すると、看護師の来室が増え、一日に何度も JDream II の利用方法の説明が必要である。そこで看護部と相談し講習会の開催日程を決

NOGUCHI Michiyo

徳島赤十字病院図書室

noguchi@tokushima-med.jrc.or.jp

めて、業務終了後、5時30分から1回に20名程度（各病棟で1〜2名）の講習会を2日間行っている。図書室のパソコン3台を使用し、実際の研究のテーマに沿ったキーワードを入力し、必要な文献を検索してもらう。他人が検索しているのを見ているだけでは身に付かないため、各自それぞれのキーワードで検索してもらっている。

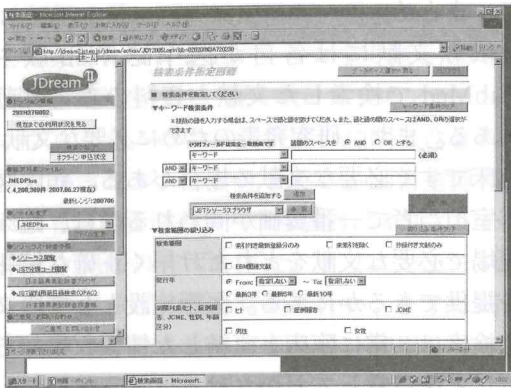


図1 JDream II シソーラスブラウザ

検索するキーワードを決めるのが難しくなかなかヒットしない場合があるが、JDream IIにはシソーラスブラウザという機能があり同義語の情報が表示されるため、別のキーワードを思い付かないときには助かる。また探していた文献が一つでもあれば、その資料の最後に記載されている引用文献を参考に次を検索することができる。図書室所蔵の雑誌については検索するパソコンのデスクトップに所蔵雑誌一覧を作成し案内している。また書庫内の配置を入口に掲示し、図書室担当者のいない場合でも雑誌を見つけられるようにしている。

最近ではJDream IIの医学・薬学予稿集のデータベースをよく利用している。資料としては1ページ以内の内容であるが、すぐにダウンロードして利用でき、大変便利である。学会でもポスター発表が増えたため、予稿集データは大変役立っている。

### III. 医師への検索指導

#### 1. 文献検索

新任医師の場合は、多くが医中誌 Web 版で検索をしたことがあり、検索指導をすることはあまりない。ただ当院は医中誌 Web 版を2アクセスで契約しており、IDとパスワードを入力しての検索になるため毎年、「図書室だより」（毎月15日に発行、院内各部署配布）の4月号で、検索については医中誌 Web 版とJDream II、また診療方針のデータベースとしてUpToDateの利用が可能なことを紹介している。

検索指導は臨床研修医を中心に行っており、4月のオリエンテーション時に2時間の枠をもらい、「図書室の利用について」、「文献検索について」、「パワーポイントでの資料作成について」等を説明している。

医中誌 Web 版で検索したことがない研修医は少なく、今年度は9名の臨床研修医の内、全く使用したことがない研修医は2名だった。医中誌 Web 版の Basic モードでの検索が簡単なため、最初はそれを使って説明していたが、最近では Advanced モードに変えた。医師の場合は疾患名や症状また略称で検索することが多く、Basic モードの検索入力欄に and 検索ばかりではヒットしないことがある。Advanced モードは、一つずつキーワードを

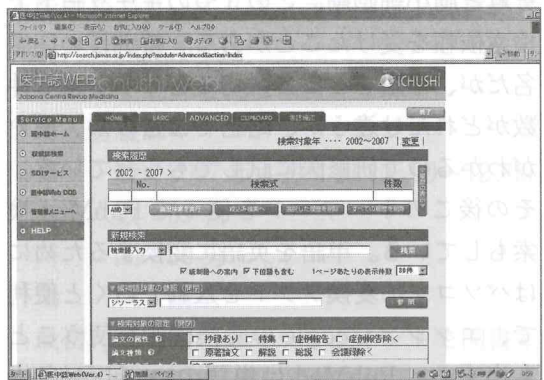


図2 医学中央雑誌 web Advanced モード

入力し、その履歴同士で検索が出来る。何千件もヒットした場合に絞り込むにはどうすればよいか、また、会議録や抄録のない文献が多いことも説明する。

#### 事例2：「腹腔神経節ブロックと膀胱癌」

1) 腹腔神経節ブロックで検索、6件ヒット。膀胱癌は38,416件ヒット。この2つで履歴検索すると0件であった。

2) キーワードを少し変えて神経節ブロックで検索し、ヒットした7,838件と先の膀胱癌で検索して65件になる。

3) このうち会議録を除く絞り込み検索をして30件。これは医中誌全年分1983年からのデータのため、新しい文献だけならば過去10年分に絞り込むこともできる。しかし、最初から10年で検索し、ヒット件数が少ない場合にはもう一度検索し直しになる。データは新しいものが一番先に表示されるので、必要のない場合は参考にしなければよいだけで、この30件のうち当院で所蔵の文献をチェックしコピーする。

医師の場合は、ほとんどが医中誌 web 版を使用しての検索になるが、JDream II でも同様に検索をし、医中誌 Web 版と比較してもらっている。

また以前に神経学的腫瘍随伴疾患 (PND)、慢性炎症性脱髄性多発神経根炎 (CIDP)。それと肺小細胞癌、この3つのキーワードで検索依頼を受けたことがある。特別長い疾患名だが、単語をどこで区切るとヒットする件数がどれだけ違うか、略名ではどうか、違いがわかるので研修医に試してもらっている。その後このキーワードを使ってPubMed 検索もしている。単語を英語に変換するためにはパソコンに変換ソフトを入れておくと便利で、エンジン Google の変換機能を使うことも出来る。PubMed は単語のつづりが多少間違っても検索でき、また検索した文献

のほとんどが抄録付きであるため、翻訳ソフトにコピー&ペーストすると、おおよその内容がすぐ分かる。フルテキストで見えることも多々あるので、英語であることを躊躇せずにPubMed の検索も勧めている。短時間で抄録だけでも把握できるよう翻訳の仕方も説明している。

### III. まとめ

依頼文献には各自が医中誌 Web 版やPubMed で検索した文献と資料の参考文献がある。また、研究発表のために必要な文献、臨床ですぐ必要な文献の場合がある。病院図書室担当で一番真価が問われるのは、臨床現場で必要な文献をどれだけ早く正確な情報を提供できるかにある。医療施設としての文献検索は、常に臨床と直結した情報収集であることを自覚しておかなければならない。しかし図書室担当者がいつも傍にいないわけではなく、特に当院は24時間体制で救急患者を受入れており、夜間の図書室利用者も少なくないため、医師や看護師が自分でも検索できるよう、そのノウハウを教えることも重要になってくる。

最近、洋雑誌は電子ジャーナルへと移行されており、インターネットで過去の論文にアクセスすることが可能である。そのため医師からの文献複写依頼は少し変わりつつある。洋雑誌のオンライン登録が図書室担当者として欠かせない業務になった。オンラインアクセスの登録は簡単な作業ではないが、重要な作業の一つである。また英語の文献検索の場合でも臆することのないよう、日頃から英文に慣れておく努力も必要である。常に自己技術の向上を図ろうとする熱意と、知識を吸収しようとする姿勢を持ち続け、何時いかなる時でも最大限の情報提供ができる図書室でありたいと思う。